

東京教組

授業づくりの本質を学べる授業講座



「いのちの授業」

今年度から週2時間の英語教育や道徳の教科化など様々な教育内容が押しつけられています。また、「働き方改革」の名の下にしごとの「効率化」が叫ばれる中、授業の内容や方法までもマニュアル化されるのではないかという危惧が生じています。こんな状況の中で私たちは子どもたちに身につけさせたい力を明確にし、その力を育てるための教育課程を組み立てる力をつけていくことが大切です。

「子どもたちのどんな力を育てることが大切なんだろう?」「そのためにどんな授業をつくれればいいんだろう?」。良い授業をつくりたいという思いはあっても何をどう考えればいいのかなかなか難しいですね。

そこで今回は平林 麻美さんを講師として「いのちの授業」というテーマで授業講座を行います。

平林さんは総合学習にこだわりをもって、人権や男女平等の視点など子どもにとって必要な学びは何なのか考えながら授業実践を創ってきた方です。平林さんの授業実践から学びながら子どもたちにとって必要な学び、大切な学びについて一緒に考えてみましょう。

日時 2018年9月22日(土)14時~17時

会場 東京教組会議室(日本教育会館2階)

講師 平林 麻美さん



授業講座の内容

「いのちの授業」

子どもたちにいのちの大切さをどうやって伝えていますか？

「私たちはいのちを食べている」「生き物もいのちを食べている」「つながっているいのち」「いのちに同じものはない」「新しいいのち」...身の回りのことから、いのちの素晴らしさを気付かせていく授業の報告をします。

また、先輩たちが作ってきた性教育やジェンダー平等教育につながるワークシートの実践例も紹介します。

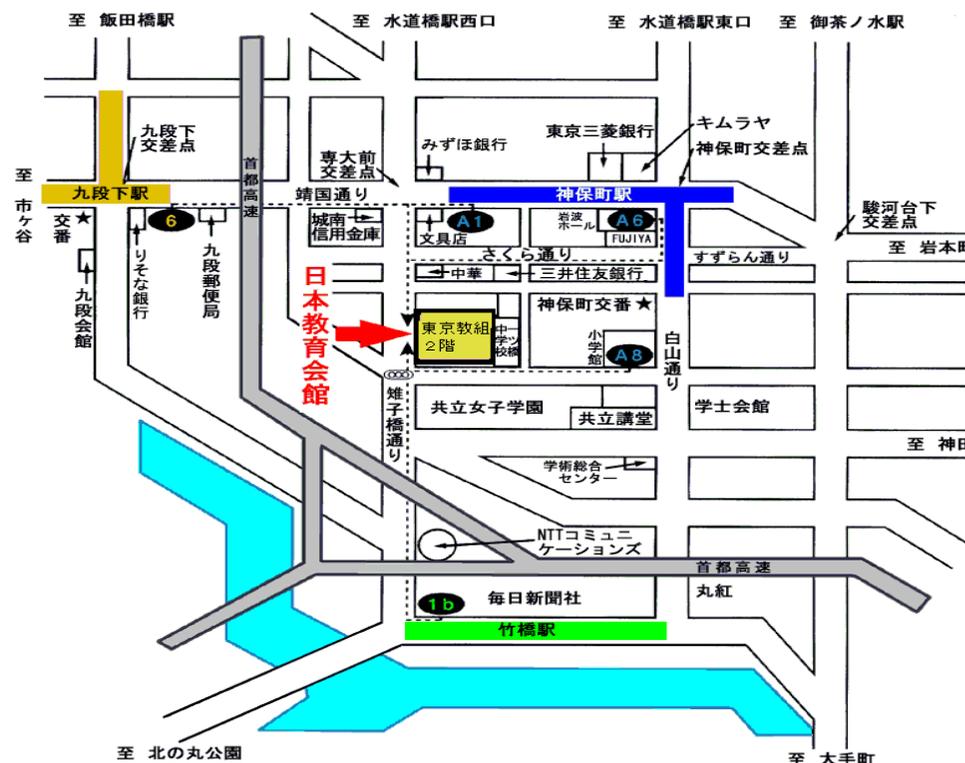
一緒に明日の授業を考えてみませんか。

〈会場〉東京教組会議室

(日本教育会館 2階)

地下鉄神保町・九段下徒歩 5分

問い合わせは東京教組 03-5276-1311



たくさんの方を誘って参加してください。